

平成29年度青森県（西北五地域）地域医療構想調整会議

日 時 平成29年9月5日（火）午後5時～午後7時

場 所 ホテルサンルート五所川原 2階「萬葉の間」

（1）報告事項

①平成28年度病床機能報告の結果

②特定の一月における入院患者に関する調査結果

事務局から①、②について資料1-1、1-2、1-3、資料2に基づいて説明。
質疑はなかった。

（2）協議事項

①病院の機能分化・連携の方向性

②地域医療構想の実現に向けた病床の有効活用

③医療療養病床を有する医療機関及び介護療養型医療施設からの転換意向調査

事務局から、①について資料3、②について資料4、③について資料5、参考1に基づいて説明、案件ごとに意見交換を行った。

①病院の機能分化・連携の方向性

○つがる総合病院

- ・今後も地域の中核病院としての役割を担っていく。
- ・休棟中の病棟を再稼働し、平成28年10月に地域包括ケア病棟を開設した。

○かなぎ病院

- ・つがる総合病院との連携を図りながら、リハビリテーション機能の強化に取り組んでいる。
- ・月50件程度、訪問診療を実施しているほか、訪問看護にも取り組んでいる。

○鱒ヶ沢病院

- ・稼働中の病床の一部について、地域包括ケア病床への転換を検討している。
- ・休床中の病床については、再開の目途が立っていない。

○つがる西北五広域連合

地域医療構想の実現に向け、圏域内の急性期と回復期の必要病床数の確保に向けて、連合立の病院も取り組んでいきたい。

○その他医療機関

（介護療養病床の廃止に伴う転換先として、介護医療院を検討中との報告があった）

②地域医療構想の実現に向けた病床の有効活用

平成 28 年度病床機能報告において休棟中の病棟があると報告があった病院から、休棟の理由、再稼働時期等について以下のとおり発言があった。+

○つがる総合病院

- ・一部は現在、地域包括ケア病棟として稼働している。
- ・残りは、医療スタッフ不足等課題はあるが、今後稼働させたい。

○鱒ヶ沢病院

再稼働の目途は立っておらず、今後の運用を広域連合で検討していきたい。

○白生会胃腸病院

休棟中の病床は介護医療院などへの転換を検討中。

③医療療養病床を有する医療機関及び介護療養型医療施設からの転換意向調査

(療養病床を有する医療機関から今後の展望について以下のとおり発言があった)

○慈仁会尾野病院

国の動向、西北五圏域の状況を見ながら検討を進めていきたい。

○誠仁会尾野病院

病院を新築した後、介護医療院への転換を検討している。

○増田病院

介護医療院の施設基準等が定まった後に検討する可能性はある。

○白生会胃腸病院

介護医療院への転換を検討している。

○かなぎ病院

広域連合で検討することになるが、現時点では議論は行われていない。

(3) 意見交換その1

①在宅医療等の確保の方向性

②基金を活用した補助制度

事務局から①、②について参考2、参考3に基づいて説明、各市町村から参考2の P10 について補足説明。

○西つがる歯科医師会

当会の会員で在宅の訪問診療を実施している歯科医師数はまだ少ないので、普及啓発に取り組んでいきたい。

○県看護協会

・訪問看護は、在宅での看取りや重症度の高い利用者の対応など、今後、ますます需要が大きくなっていくが、現状は人手不足等により 24 時間対応の訪問看護ステーションが少なく、また、設備が十分でないなど、利用者のニーズに十分応えられていない。

・訪問看護ステーション数の増加や大規模化のほか、看護職員の確保についても、併せて検討していただきたい。

○保険者協議会

患者負担や保険料の負担が過度にならないように配慮をお願いしたい。

(4) 意見交換その2

○西北五医師会

医師の立場から、在宅医療の提供については、西北五地域では訪問医療を各家庭に訪問するという形ではなく、利用者がある程度集約し、そこで訪問医療をするような形にしていく必要があると思う。

以上